

2024年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院
薬剤部
研究責任者： 横山 智士

皆様の試料・情報を利用させていただき、下記の研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない方は、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 薬物治療に対する副甲状腺ホルモン反応性の個人差に着目した遺伝的背景および臨床因子の横断的解析

研究の目的

副甲状腺ホルモン（PTH）は、体内のカルシウムのバランスを保つために重要な役割を果たしています。しかし、血液中のPTHの値は人によってばらつきがあり、その違いには遺伝的な要因に加えて、年齢や腎臓の働きなど、さまざまな要因が関係していると考えられています。また、臨床の現場では、骨粗鬆症などに対するお薬の治療にも個人差がみられることが知られています。さらに、血液中のPTHの値が高いと、骨折のリスクが高くなるだけでなく、血圧や心臓への負担の増加など、健康にさまざまな影響を及ぼす可能性が報告されています。

本研究では、血液中のPTHの値にみられる個人差の要因を明らかにするために、カルシウムの代謝に関わる遺伝子の違いと、体の状態や生活習慣、服用しているお薬などとの関係を調べ、その影響を明らかにすることを目的とします。これにより、将来的により適切な治療や予防につながる知見が得られることが期待されます。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2029年 3月 31日

対象となる方 2024年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2023-191-2）」において2024年に取得された以下のデータを研究責任者である横山 智士の責任の下、標記研究課題実施のために利用します。

【2024】

- 個人識別ID
- 個人記録票
- 体組成
- 健康調査票
- 血液検査(白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、血小板数、HbA1c、総ビリルビン、AST、ALT、 γ -GTP、TP、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、総コレステロール、中性脂肪、ナトリウム、カリウム、カルシウム、無機リン、マグネシウム、血糖値、HDL

コレステロール、Alb、LDL コレステロール、ALP、遊離テストステロン、コルチゾール、ACTH、血漿レニン活性、インターロイキン-1 β 、インターロイキン-6、テストステロン、シスタチン C、高感度CRP、オステオカルシン、骨型ALP、ucOC、TRACP-5b、totalP1NP、25OHVD 画分、25OHVD2、25OHVD3、腫瘍壊死因子- α 、ICTP、whole PTH)

- お薬手帳記録
- FFQ 読み取り素データ (回答生データ)
- 骨密度
- 遺伝子多型

具体的には、健診で得られた上記データを用いて、血液中の PTH の値とカルシウムの代謝に関連する遺伝子の関連を明らかにする予定です。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究で収集し、加工 (氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与) され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

外部への試料・情報の提供

特にありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。参加者/その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、その方の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 薬剤部 助教 横山 智士 住所：〒036-8563 弘前市本町 53 電話：0172-33-5111(代表) Email：s-yokoyama@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205